

患者たちを見くびるな

発信力向上プロジェクト

OUTBACKプロジェクト共同代表
医療ジャーナリスト

佐藤光展

スクープなど記者時代(2018年まで)の活動

医療記者として、あまりにもずさんな精神医療の実態を告発(四半世紀の記者生活のうち医療担当20年)

- ◎うつ病患者(気分障害)が10年で2倍、100万人超える
- ◎うつ病急増の影に新薬キャンペーン
- ◎抗うつ薬のインチキ研究を告発、キャンペーンに歯止め
- ◎聖マリのインチキ臨床研究を患者と告発し研究中止に
- ◎統合失調症も誤診の山(連載が大反響)
- ◎ベンゾの依存性を次々と暴く
- ◎精神科の身体拘束が10年で2倍、毎日1万人
などなど

そこに医学は存在しない

精神医学の歴史を紐解けば、我々は精神障害の苦しみに対して医学の力で立ち向かっていったのではなく、医学の皮を被った道徳と政治のストーリーであり、実際には狂人というレッテルが貼られた人々をしつけて静かにさせていただけだった。

(ミシェル・フーコー)

行き詰る精神医学

1980年代に「生物学的精神医学」革命をもたらそうとした野心的な挑戦は、今では見る影もない。近年、製薬企業の多くは儲けを生み出す新たな向精神薬が生まれる見込みは小さいと判断し、精神科領域から逃げ出しており、生物学的精神医学の権威を頼りに作成された診断マニュアルは、部外者だけでなく、このマニュアル策定に従事していた関係者たちからも攻撃を受けている有様だ。

（「マインド・フィクサー」より）

製薬業界は、サイケデリックス薬（DMT、マジックマッシュルーム、LSDなど）に活路を見いだすのか？

患者たちの発信力向上プロジェクト

- ◎2021年春、OUTBACKプロジェクトを立ち上げ
- ◎演劇部門としてOUTBACKアクターズスクールを開校
- ◎2022年度「こころのバリアフリー賞」受賞
- ◎主催公演は超満員札止め記録を継続中
- ◎スクール生は膨れ上がるばかり。現在は約50人を2班に分けてワークショップを開催
- ◎次回の公演は12月23日と24日、横浜・山下町のあかいくつ劇場(23日は精神科医・大野裕さんのトークも)
- ◎チケット予約はお早めに

2023年9月2日 松山公演ダイジェスト (文化庁、OUTBACKプロジェクト主催)

